

たる階級性を抹殺するが如き最近のフアツシヨ運動の貯水池たる農本主義者や、愛郷並ひに國粹精神論者の反動的な非科學性を暴露しなければならぬ。

何故なら今日の地主は金利業者であり、工業投資家となつて所謂資本家化し、他方面農業の資本主義化に伴ひ地主と資本家は支配階級として一体的に抱合してゐるからである。

2、更に農民は農村餘賤や青田な税金徴収課税に借金取立、凶作のため悲惨な生活状態に置かれてゐる。

然も吾國の特徴として多くの工場は農村に散在し農民は日傭人天同様に雇傭され、低賃金の下に極度の搾取を受け、或は輕工業資本家は農村家内工業を利用し不富な利潤を上げてゐる。就中紡績産業に従事する女工の大多数は殆んど農村出身の労働者である。

一方農村は都市失業者の歸農收容所たらしめ、農民間に多くの労働豫備軍を存置し、これらの過剩労働力は農村窮乏の折りから甚しき低賃金にも資本家の雇傭に應せしめて労働者の生活水準を低下する。

斯くの如く労働者と農民の生活は密接に聯繫してゐる現在の不況の深刻化と共に今や農民の問題は農民自身の問題にあらずして同時に労働者の問題でありその逆も等しく兩者の關係は不可避的に愈々深く結合せざるを得ない。

3、現在者が組合の指導と影響下に農村の組織があるも、それは地域的に且つは農生の特殊情勢から現状を有効とするものであつて、農民は飽くまで労農結合の密接なる機能を營むものであると同時に農民をして農民組合戦線へ客觀的主体的な状態の坵定から直接的に或ひは過程的に編成する媒介的な役